



# 佐渡市デジタル活用計画（素案）

令和6年X月策定  
0.1版  
佐渡市



## ● 第1章：概要編

- 1 本計画の位置づけ
- 2 計画期間
- 3 デジタル活用施策体系図
- 4 計画の実行にあたって

## ● 第2章：詳細編

1. 基本目標1：データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり
2. 基本目標2：組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍いきいきと暮らせるまちづくり
3. 基本目標3：時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり
4. 基本目標4：情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり
5. 基本目標5：デジタルネットワークを活かした、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり



# 第1章：概要編

# 1 本計画の位置づけ

本市は、2022年6月に「佐渡市総合計画」をデジタル活用の視点でとりまとめた「佐渡市デジタル活用構想」を策定し、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとにデジタル技術の活用指針を定めるとともに、2031年頃における“デジタル技術を活用した佐渡市のありたい姿”をビジョンマップに描いています。

総合政策に掲げる施策の達成に貢献するため、また、ビジョンマップに描く未来の実現のための具体的な行動計画として、本計画を定めます。

## 佐渡市総合計画

佐渡市が目指すまちづくりの基本理念と将来像、基本目標、その実現に向けた施策の大綱を明らかにし、総合的かつ計画的な市政運営を図るための指針となるものです。

2031（令和13）年度までの基本構想と基本計画で構成されます。

## 佐渡市デジタル活用構想

佐渡市総合計画に掲げる施策の実現に貢献するための「手段としてのデジタル活用」を示すとともに、実行計画である「佐渡市デジタル活用計画」の指針となるものです。

## 佐渡市デジタル活用計画

「佐渡市デジタル活用構想」に掲げるデジタル施策の実現のための実行計画です。各施策のデジタル活用に関する部分を具体的に計画化するものです。

基本目標1：データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

基本目標2：組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍いきいきと暮らせるまちづくり

基本目標3：空間の制約を越えた、一郷土への誇りとい未来への希望を育むまちづくり

基本目標4：情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり

基本目標5：デジタルネットワークを活かした、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり

※佐渡市における自治体DX推進計画であり、国が掲げる重点項目に関する実行計画・KPIを含めるものとします。

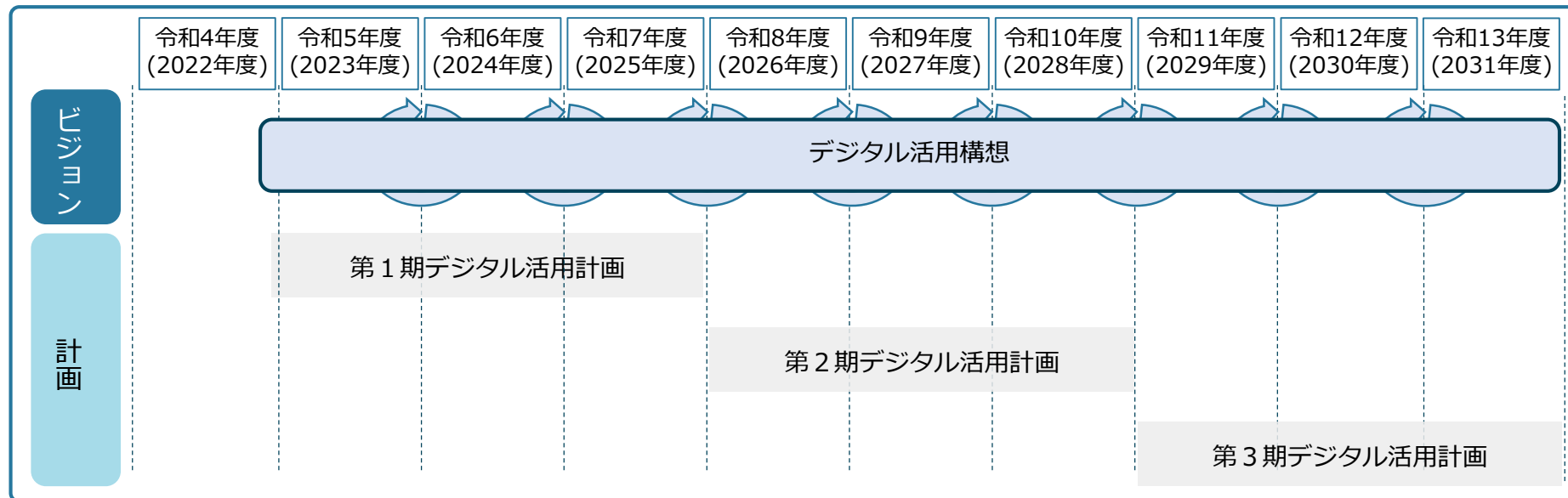
## 2 計画期間

計画期間は3年間とし、地域課題の動向や日々進化するデジタル関連技術の動向を踏まえ、必要に応じて柔軟に見直しながら更新を図るものとします。

第1期：デジタル活用推進のための環境整備と成功体験の積み上げフェーズ

第2期：デジタル活用の積極推進・社会実装の加速化フェーズ

第3期：未来のありたい姿実現フェーズ

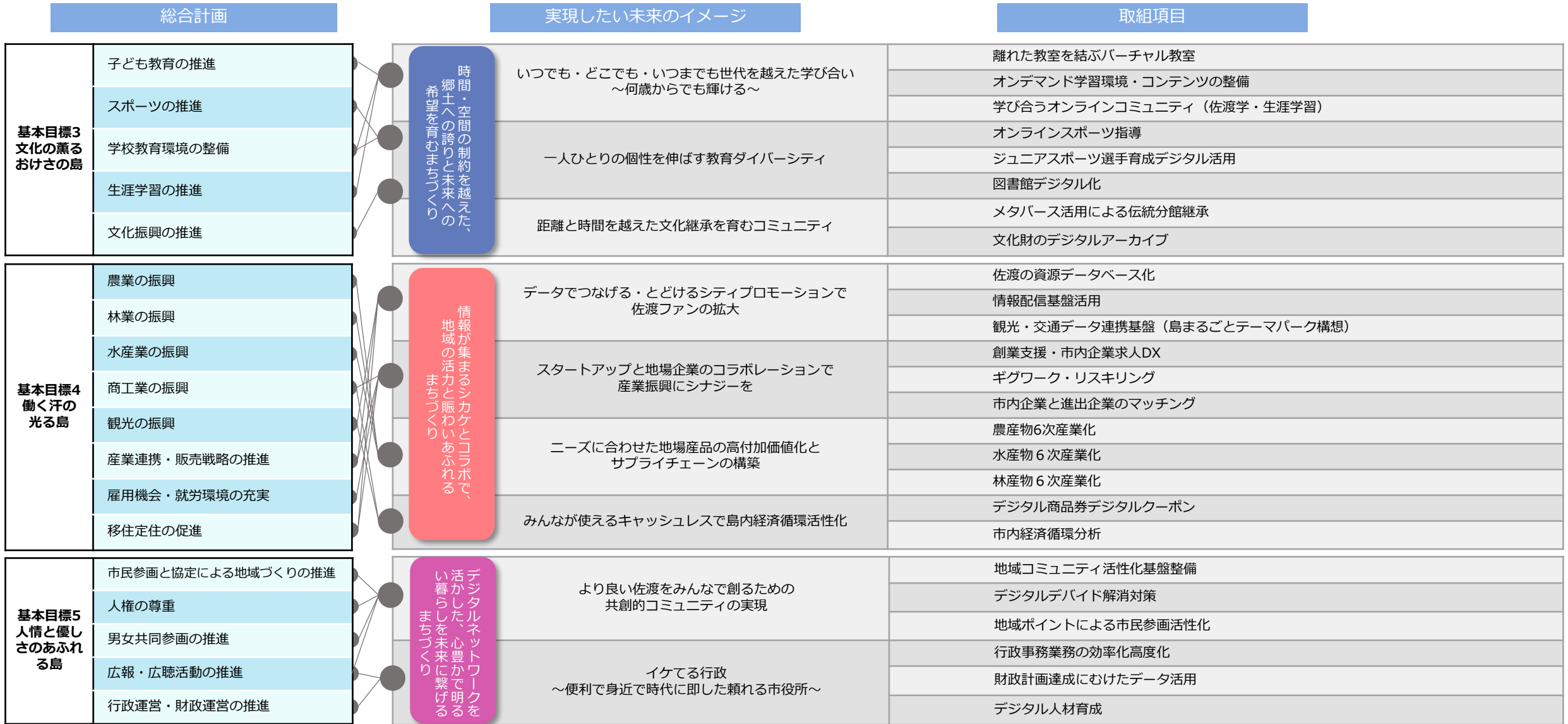


- ※2：自治体DX推進計画に掲げられている重点取組事項
- (1) 自治体情報システムの標準化・共通化
  - (2) マイナンバーカードの普及促進
  - (3) 自治体行政手続きのオンライン化
  - (4) 自治体のAI・RPAの利用促進
  - (5) テレワークの推進
  - (6) セキュリティ対策の徹底

# 3 デジタル活用施策体系図



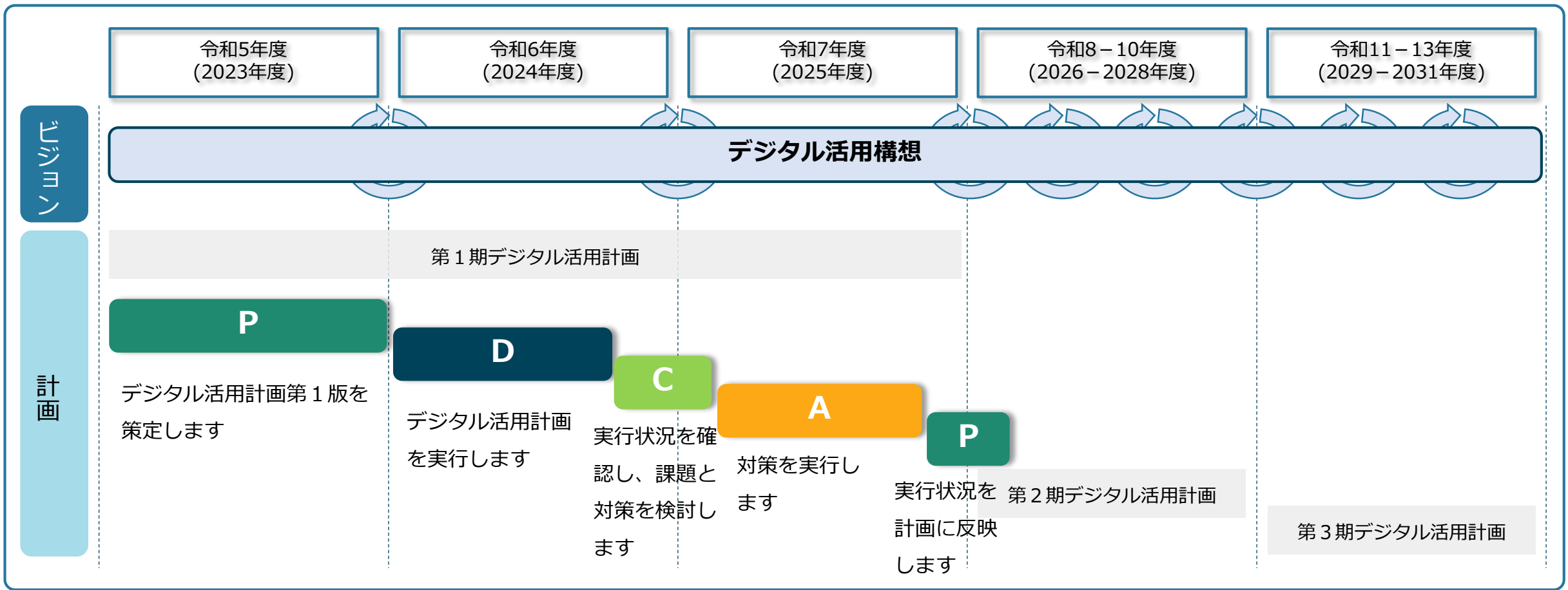
# 3 デジタル活用施策体系図



# 4 計画の実行にあたって



- デジタル活用計画の実行にあたっては、PDCAサイクルを継続して実行していくこととします。







## 第2章：詳細編

### 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、  
豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり  
[防災・防犯・生活・環境]

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## みんなで作る・つながる、いのちを守るための災害対応

災害に関する様々な情報を集約し、欲しい情報をタイムリーに市民に届け、市民同士が情報を投稿し合うことで自助・共助の関係を作り上げ、みんなが助け合う災害に強いレジリエンスなまちづくりに貢献します。

令和5年

令和6年

令和7年

令和8年

令和9年

令和10年

令和11-13年

【実現したい未来のイメージ1】

身近なデジタルツールを使った防災情報配信

佐渡市LINE公式アカウントの拡張（防災メニュー）

秘書広報課・防災課

【実現したい未来のイメージ2】

市民の安全安心を守る災害対応支援サービス

市民向け防災関連情報ポータルサイトの整備、運用

防災課

住民の安全安心を守る災害対応支援サービスの導入

防災課

【実現したい未来のイメージ3】

避難支援の仕組み整備

高齢世帯向け情報配信基盤整備、防災関連情報配信、**共助につなげるデジタル基盤活用**

総務課、高齢福祉課、防災課、地域づくり課、社会福祉課

「共助につなげるデジタル基盤活用」に向けたソフト・ハード両面のデジタル化の検討？

避難所での受付の迅速化（システム導入検討、整備、運用）

防災課、社会福祉課

要支援者台帳作成効率化、**共助につなげるデジタル基盤活用**

防災課、地域づくり課

【実現したい未来のイメージ4】

観光客向け防災情報配信

市民向け防災関連情報ポータルサイトの観光客向け提供

防災課、観光振興課

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## 【実現したい未来のイメージ1】身近なデジタルツールを使った防災情報配信

取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
市公式LINEアカウントの拡張（防災メニュー）	整備完了⇒運用		
市民向け防災関連情報ポータルサイトの構築		ポータルサイト構築（予定）	
取組の概要	災害発生時に市民が必要とする情報を的確に提供できるよう、行政から発信する情報や民間事業者が提供するライフラインの情報等の災害関連情報を一元的に提供できるポータルサイトを構築し、身近なツールである市公式LINEから誰でもアクセスできる環境を整備します。		
これまでの取組内容 （現状・経緯・課題等）	令和4年度の大雪災害や令和6年能登半島地震を経験から、災害発生時に市民が必要とする情報が的確に提供できていないことが明らかとなりました。従来のホームページや各種SNSでの発信だけでは、行政から発信する情報や民間事業者が提供するライフラインの情報等の災害関連情報が集約されておらず、市民はそれぞれ個別に情報を探す必要がありました。令和5年度に市公式LINEアカウントを拡張しリッチメニュー化したことに伴い、市民が「防災メニュー」へ容易にアクセスできる環境が整ったため、受け皿として災害情報が一元的に提供できるポータルサイトの構築に向けた検討を進めてきました。		
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	令和6年度にポータルサイトを構築予定です。令和6年能登半島地震発生の際、市公式LINEの登録者数が1日で約1,000人増加したことに鑑み、市民が得たい情報が的確に集約されたポータルサイトとして機能するよう各種KPIの達成率を踏まえながら常に最適化に努めます。また、ポータルサイトへの動線となる市公式LINEアカウントについて、継続的かつ全庁的に登録者数の増加のための活動を展開します。		

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

【実現したい未来のイメージ1】身近なデジタルツールを使った防災情報配信

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績成果指数 KPI	公式LINE登録者数	目標							
		結果							
		達成率							
	災害関連情報集約サイトのアクセス件数	目標		318,000件	1,460,000件	1,825,000件			
		結果							
		達成率							
	災害関連情報集約サイトでの情報発信率	目標		100%	100%	100%			
		結果							
		達成率							
	災害関連情報集約サイトの市民向け周知回数	目標		14回	25回	40回			
		結果							
		達成率							
	災害関連情報集約サイトの利用満足度	目標		3.0p	3.5p	4.0p			
		結果							
		達成率							
	災害関連情報集約サイトのリピート率	目標		20%	35%	50%			
		結果							
		達成率							
備考									

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## 【実現したい未来のイメージ2】市民の安全安心を守る災害対応支援サービス

取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
住民の安全安心を守る災害対応支援サービスの導入		サービス導入（予定）	
防災計画の改定		支援サービスの最適な運用に整合するよう、防災計画の改定が必要では？	
取組の概要	災害発生時に、災害対策本部を中心とする市職員間や支所等の出先機関・関係機関とが情報連携し、市民の安全・安心を守るため、災害に関連する情報を関係者間でタイムリーに共有し、災害対策本部における意思決定や各所への指示・報告を迅速かつ確実に行うため、災害対応を支援するサービスを導入します。		
これまでの取組内容 (現状・経緯・課題等)	令和4年度の大雪災害や令和6年能登半島地震では、市の災害対策本部を中心とする職員間や支所等の出先機関・関係機関との情報連携に関する課題が発生した。住民の安全安心を守るためには、災害に関連する情報を関係者間でタイムリーに共有し、災害対策本部での意思決定や各所への指示・報告を迅速かつ確実に行うことが求められています。		
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	令和6年度に支援サービスを導入予定です。 サービスの導入とあわせ、支援サービスの最適な運用に資するための防災計画の改定が必要です。		

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

【実現したい未来のイメージ2】 市民の安全安心を守る災害対応支援サービス

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績成果指数 KPI	災害発生時の対策本部での利用率	目標		80%	90%	100%			
		結果							
		達成率							
	災害発生時のアカウント利用率	目標		60%	80%	100%			
		結果							
		達成率							
	被害報告・集計作業の短縮時間	目標		30分	45分	60分			
		結果							
		達成率							
	災害対応指示作業の短縮時間	目標		60分	90分	120分			
		結果							
		達成率							
			目標						
			結果						
			達成率						
		目標							
		結果							
		達成率							
備考									

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

【実現したい未来のイメージ3】 避難支援をはじめとした地域コミュニティ活性化の仕組み整備

取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
高齢世帯向け情報配信基盤整備		一部地区で導入	導入地区の拡大
防災関連情報配信、共助につなげるデジタル基盤活用		一部地区で提供	提供地区の拡大
避難所での受付システム整備			導入検討
要支援者台帳にもとづく共助につなげるデジタル基盤活用			導入検討
取組の概要	スマート端末を基盤とし、市からの情報配信（広報紙、回覧板、災害・防災情報など）の効率化を図るとともに、避難行動の支援や新たなコミュニケーションツールとして活用し、市民の安全安心に寄与するとともに地域コミュニティの活性化に繋がります。		
これまでの取組内容 （現状・経緯・課題等）	行政からの情報配信の現状は、広報紙・回覧板の紙面配布、防災ラジオでの音声通知などアナログ的であり、大きなコストが発生しています。また、災害時等の災害弱者（高齢者や避難行動要支援者等）に対する情報提供や行動支援など、共助の仕組みが十分に確立されていません。加えて、避難行動要支援者の避難の有無や安否確認が行えるなど、避難所における効率的な受付システムの整備も必要となっています。		
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	<b>【考えられる取組】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・要支援者台帳のデータ化と、オプトイン方式の徹底により組織の枠を超えたデータ連携</li><li>・避難所における受付システムのスマート化による要支援者の避難行動と安否の確認</li><li>・要支援者台帳の地域の見守り活動への活用の課題解決（民間事業者と台帳を共有できないか）</li><li>・スマート端末に広報紙や回覧板の閲覧機能を搭載することにより普段使いを促す。共助の推進への期待。</li><li>・モデル地区づくりのための補助メニューの用意。</li><li>・各地域に1つの電源・バッテリーを用意するなど、スマート化へのエネルギー対応。</li></ul>		

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

【実現したい未来のイメージ3】 避難支援をはじめとした地域コミュニティ活性化の仕組み整備

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績成果指数 KPI	高齢世帯向け情報配信 基盤整備	目標		3地区・80世帯	3,000世帯で導入	3,000世帯で導入	高齢単身世帯全展開		
		結果							
		達成率							
	防災関連情報配信、共 助につなげるデジタル 基盤活用	目標		一部地域で提供	提供地域の拡大	提供地域の拡大	提供地域の拡大	提供地域の拡大	サービスの見直し
		結果							
		達成率							
	避難所での受付システ ム整備	目標			導入検討	一部地区で導入	導入地区の拡大	導入地区の拡大	市内全域の整備
		結果							
		達成率							
	要支援者台帳にもとづ く共助につなげるデジ タル基盤活用	目標			導入検討	一部地区で導入	導入地区の拡大	導入地区の拡大	市内全域の整備
		結果							
		達成率							
		目標							
		結果							
		達成率							
	目標								
	結果								
	達成率								
備考									



# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## 【実現したい未来のイメージ4】 観光客向け防災情報配信

取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
市公式LINEアカウントの拡張（観光客向け防災メニュー）	整備完了→運用	サービス導入（予定）	
市民向け防災関連情報ポータルサイトの観光客向け提供			
取組の概要			
これまでの取組内容 （現状・経緯・課題等）			
前年度からの改善点 今後の計画及び内容			

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## 【実現したいミライノイメージ取組4】 観光客向け防災情報配信

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績成果指数 KPI		目標							
		結果							
		達成率							
		目標							
		結果							
		達成率							
		目標							
		結果							
		達成率							
		目標							
		結果							
		達成率							
		目標							
		結果							
		達成率							
備考									

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## 誰でも安全で快適なモビリティサービス

車の運転が困難な方々にも様々な公共交通機関を利用できる新たな交通体系を確立し、交通事故を減らしながらすべての市民がアクセスできる仕組みを創ります。

令和5年

令和6年

令和7年

令和8年

令和9年

令和10年

令和11-13年

【実現したい未来のイメージ5】

公共バスの  
自動運転

支線エリアの自動運転による公共バス運行（実証調査、サービス開始、路線拡大）

交通政策課

【実現したい未来のイメージ6】

乗り合い交通  
デマンド配車実現

自家用有償交通による空白地域の新たな交通サービス確立

交通政策課

【実現したい未来のイメージ7】

マイナンバーカード  
による島民割引

デマンド型配車におけるデジタル化（スマホ・タブレット）

交通政策課、学校教育課

マイナンバーカードを活用した佐渡汽船島民割引の実現（オンライン）

交通政策課

【実現したい未来のイメージ8】

公共交通機関の  
キャッシュレス

公共交通機関におけるキャッシュレス決済サービスの導入、拡大

交通政策課、産業振興課

サブスクリプション型公共交通サービス

交通政策課

# 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## 【実現したい未来のイメージ5】 公共バスの自動運転

取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
支線エリアの自動運転による公共バス運行	実証事業の実施	実証事業の実施	自動運転レベル4の認可・運行 (予定)
取組の概要	災害発生時に市民が必要とする情報を的確に提供できるよう、行政から発信する情報や民間事業者が提供するライフラインの情報等の災害関連情報を一元的に提供できるポータルサイトを構築し、身近なツールである市公式LINEから誰でもアクセスできる環境を整備します。		
これまでの取組内容 (現状・経緯・課題等)	令和4年度の大雪災害や令和6年能登半島地震を経験から、災害発生時に市民が必要とする情報が的確に提供できていないことが明らかとなりました。従来のホームページや各種SNSでの発信だけでは、行政から発信する情報や民間事業者が提供するライフラインの情報等の災害関連情報が集約されておらず、市民はそれぞれ個別に情報を探す必要がありました。令和5年度に市公式LINEアカウントを拡張しリッチメニュー化したことに伴い、市民が「防災メニュー」へ容易にアクセスできる環境が整ったため、受け皿として災害情報が一元的に提供できるポータルサイトの構築に向けた検討を進めてきました。		
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	令和6年度にポータルサイトを構築予定です。令和6年能登半島地震発生の際、市公式LINEの登録者数が1日で約1,000人増加したことに鑑み、市民が得たい情報が的確に集約されたポータルサイトとして機能するよう各種KPIの達成率を踏まえながら常に最適化に努めます。また、ポータルサイトへの動線となる市公式LINEアカウントについて、継続的かつ全庁的に登録者数の増加のための活動を展開します。		



<https://www.city.sado.niigata.jp/>